

会 議 録	
会議名	令和7年度第3回在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会
日 時	令和8年1月21日（水） 13時30分～14時10分
会 場	グーグルミートWEB会議
参加者	<p>【会長】高橋公一（みさと中央クリニック）</p> <p>【副会長】三瓶裕之（三郷ケアセンター）</p> <p>【委 員】山本洋子（ファミリーケアたかの）、宮田姫芳（アスカ訪問看護ステーション）、我妻祐哉（三郷中央総合病院）、藤原雅紀（地域包括支援センターしんわ）、小菅 恵美（ウェルネスベース）</p> <p>【サポートセンター/三郷市医師会】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】大津恵</p> <p>【会議録作成者】川島幸道（敬称略）</p>
検討課題	<p>1. 令和7年度の評価、活動振り返り</p> <p>2. 令和8年度の方針について</p>
内 容	<p>1. <b>スケジュール（会議及び研修会）</b></p> <p>第1回部会 令和7年6月11日（水）13:30～14:30（WEB会議）</p> <p>第2回部会 令和7年7月9日（水）13:30～14:30（WEB会議）</p> <p>R7年研修会 令和7年9月20日（土）18:00～19:30（ハイブリット開催）</p> <p>第3回部会 令和8年1月21日（水）13:30～14:10（WEB会議）</p> <p>2. <b>令和7年度の評価・活動振り返り</b></p> <p>■三郷市多職種向け在宅看取り研修会</p> <p>日 時：令和7年9月20日（土）18:00～19:30</p> <p>会 場：三郷中央におどりプラザ 3階会議室</p> <p>方 法：会場とWEB配信（Zoom）研修会</p> <p>テーマ：「精神科チームが支援するACP・在宅看取り」</p> <p>講 師：①訪問看護リハビリステーションサザンカ 管理者 久保田友紀氏 ②みさとメンタルクリニック 所 長 田井 健先生</p> <p>・アンケートの結果</p> <p>申込人数 48名</p> <p>参加人数 37名（会場17人、配信20人）</p> <p>アンケート返信数 14名 回収率 40.0%</p>

<p>内 容</p>	<p>※令和7年度の活動の振り返りを話し合いました。</p> <p><b>【委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身も ACP について、ケアの仕方について勉強になった。事例検討というのはアンケートでも要望があり、参加人数の確保に繋がり、有意義な研修になったと思う。令和6年度は年度の終わり際、令和7年3月に行って、最後の会議を研修日に行ったが、令和7年度は令和7年9月という早い時期に研修ができ、時間に余裕があったのも良かったと思う。</li> <li>・精神科の関わる ACP は他の地域でもあまりないテーマだと思うので、多職種の方も興味を引いた勉強研修会を提供できたと思った。</li> <li>・令和6年度も参加したが、令和7年度の方が参加者の熱気を感じた。講師の内容も興味深い内容でそこからのグループワークもスムーズに行けた印象だった。自分もグループワークの中に入り、色々な話を聞けたり、自分の実体験を話せたりした。精神疾患だけでなく認知症を含めた幅の広い講義だったので、グループ内各職種もそれぞれ悩んでいることを確認でき、情報共有することを有意義に感じる事ができた。</li> <li>・私の参加したグループも盛り上がり情報交換を沢山していたし、もっと時間があっても良かったかもしれない。テーマが斬新で田井先生がアプローチの仕方を本人の口からじかに聞いたという話が良かったという声を参加者から頂いた。研修会の開催時期について令和6年度研修の時は感染症が流行っていて参加できないという声を聞いたので、令和7年度のように早めが良いと思う。</li> <li>・研修会では先生からの率直な意見であったり、先生自身も「ACP について色々悩んでいる」という話を聞いて共感、安心できる所もあって、良い研修だったと思う。グループワークでも色々な意見が聞いて自分自身勉強になった。こちらがびっくりするくらい活発で、参加者ももっと話したいという雰囲気があった。</li> <li>・講義の内容が素晴らしかった。それに伴ってグループワークが盛り上がったと感じた。良い研修だった。盛り上がれば、質問も出るし、参加人数も増えるので続けられれば良いと思う。</li> <li>・グループワークは講演と違って聞くだけでなく、参加型なので盛り上がるのでよかったと思う。来年度も皆さんでどのような活動をするのか考えられれば良いと思う。</li> </ul>
------------	--

### 3. 令和 8 年度研修部会活動方針について

令和 8 年第 1 回三郷市在宅医療介護連携推進協議会において、令和 8 年活動方針を決定しますが、本日の委員会で、一案として令和 8 年度活動方針を検討しました。

#### ① 研修部会について【案】

- ・令和 8 年度も年 1 回の多職種向け研修会を行う。

#### ② 内容について

- ・研修者からの希望（アンケート結果より）

各職種からの ACP 事例研修

- ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会の議題

【日常の療養】本人家族の療養生活支援について

課題：連携の仕組みの構築（ICT ツールやお互いの職種の理解）

#### ① MCS の活用

#### ② 各職種の理解不足

【急変時の対応】

#### 【委員からの意見】

- ・令和 7 年度とやり方は変えなくてもよい。また他職種の ACP 事例を聞いたら良いと思う。令和 8 年度の次回の会議までにどのようなことをすればよいか各々で考えてこれたら良い。
- ・事業所で今回の研修に参加した従業員を主体に ACP に関する委員会が立ち上がったので、ACP を続けて貰えるとありがたい。他の事業所の話も聞いてみたい。ACP の研修の中で ICT ツールの使い方や各職種の理解を取り込むのも良いかなと思う。MCS の使い方や多職種の理解をテーマとした研修だと聞くだけの研修になりそうだった。参加型であるグループワークを行うなら、ACP をテーマに内容を吟味していく方向性が良いと思う。
- ・法人グループで介護職員が行う原則として医行為ではない行為を検討している。ACP チームケアの中で介護職員が上手く機能した事例や介護職員が新しい役割が知れる事例があれば聞いてみたい。
- ・MCS の活用は自分もできてないので良いかなと思う。ACP では経過が悪くなって病院に入院した時に積極的な医療行為をやめて看取りに切り替えようとかそういった判断の経緯の話とか来てみたい。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACPの研修を続けているので、深めていければ良いと思う。 アンケートでも在宅見取りに関する学びを深めたいという意見もあり、そういった方がACPの理解を深めた上で在宅見取りに取り組んで行けたらよいと思う。MCSについてはより活用できるようになればよいかなと思う。</li> <li>・ ACPについて理解を深めたいという意見が多かった。症例検討する利用者さんを情報共有する形でよいと思う。それぞれの専門職のアプローチを検討した症例を出せばよい研修となる。</li> </ul>
結 論	<p>1. 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 精神科の関わるACPというテーマはなかなか無く、講師のお話は大変勉強になった。参加者からの声も好評だった。</li> <li>② ACP症例発表とグループワークという研修形式だった。多職種から要望の多い症例発表と参加者が参加できるグループワークは盛り上がるので続けていきたい。</li> </ul> <p>2. 令和8年度の方針について（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 年1回の多職種向け研修会を開催する。</li> <li>② ACPの継続、協議会の課題、研修会参加者より要望のあった研修を参考にして協議していく。</li> </ul>
次回検討課題	令和8年度の活動方針について
次回開催日時	<p>令和8年度第1回研修部会</p> <p>令和8年6月10日（水）13：30～ WEB会議（グーグルミート）</p> <p>詳細は後日MCSにて連絡する。</p>